

## H19 年度 新規設立プロジェクトチーム(予定)

(仮称) 舗装用骨材資源の有効利用に関する研究

【プロジェクトリーダー】大阪市立大学 名誉教授 山田 優

【目的】

今後、舗装用骨材の調達が難しくなる。特に細骨材として使用してきた天然砂の入手が困難になると予想される。そこで、砕砂のほか、鉄鋼スラグ、下水汚泥・ごみ焼却灰の溶融スラグ、アスファルト再生骨材、コンクリート再生骨材の舗装用骨材としての活用方法を検討し、近畿地方における舗装用骨材の安定供給・品質管理策を提案する。

(仮称) 道路斜面内部構造監視システムの構築に関する研究

【プロジェクトリーダー】関西大学 都市システム工学科教授 楠見 晴重

【目的】

道路斜面の崩壊は亀裂面等に地下水や表面水などが流入して、斜面内の地盤劣化が進行したり、乾燥・湿潤を繰り返すことにより風化が進行し、地盤の強度が低下し崩壊に繋がると考えられる。そこで、弾性波などの探査技術を利用して、危険な亀裂、斜面内の地盤・風化状況あるいは地下水性状などを定量的に長期間監視できるシステムを開発する。さらには、崩壊の予知システムも開発する。

(仮称) トンネル坑口部付近における騒音予測に関する研究

【プロジェクトリーダー】京都大学大学院工学研究科 准教授 松井 利仁

【目的】

近年、事業実施にあたって、道路環境に対する周辺住民の騒音対策への要望は高く、様々な対応が求められており、必要な対策を実施するためには、騒音の予測精度の向上が必要である。特にトンネル坑口周辺部における道路交通騒音の予測について、実際の測定と予測による結果の比較を行うことにより、一般的な手法に加えてより詳細な検討の必要性の有無について研究を行う。

- ・トンネル坑口付近の遮音壁の有無による予測精度の検証
- ・坑口からの距離による予測精度の検証
- ・各検討項目において予測精度に差が生じた場合、その要因の推察